

北海道大学獣医学部と札幌市円山動物園との交流実績について（令和5年度）

No	件名	内容	実績（数値等）
1	講義「獣医学概論」	動物園獣医師の役割について講義を行っていただいている。	令和5年8月23日に実施
2	アジアゾウの保有微生物叢の調査	アジアゾウ糞便中の微生物叢について、定期的モニタリングを実施している。	試料の提供(年3回)
3	ゾウヘルペスウイルスの定期検査と共同研究	ゾウヘルペスウイルスの定期検査を行なっている。ゾウヘルペス再活性化マーカー探索について、研究を実施している。	資料の提供（年2回）
4	動物園動物の微生物叢解析	動物園動物の糞便内微生物叢を網羅的に検出するための共同研究を実施している。	資料の提供（年1回）
5	留学生演習 （チュラロンコン大学短期留学生受入プログラム）	「チュラロンコン大学短期留学生受入プログラム」において、チュラロンコン大学獣医学部交換留学生3名を受け入れていただき、建設中のオラウータン舎他の園内視察演習を行った。	3名（CU5年生）の受入（年1回）
6	飼育・展示動物の診療	円山動物園の連携・協働に関する協定書に基づき、飼育・展示動物の診療を行った。具体的には、2023年8月24日に活動性低下、食欲低下のホッキョクグマ1頭の腹部超音波検査を実施し、最終的に胆管癌という診断を下した。診療に際して、学生2名を引率し、動物園獣医師と協働して指導・教育を行った。	診療回数 1回 診療頭数 1頭 学生 2名の受け入れ
7	ユキヒョウの糞中ホルモン測定に関する共同研究	円山動物園のユキヒョウの発情周期を把握するため糞中性ホルモンを測定し性ホルモンの動態を把握する研究を行う。	資料の提供(経時的)
8	アジアゾウの雌由来粘液に関する共同研究	アジアゾウ雌の外陰部より排出された粘液の性状や精子の有無などを検査し、発情周期との関連を検討する。	資料の提供(経時的)
9	アジアゾウ雌のステロイドホルモン動態のモニタリング	アジアゾウ雌の血液中のステロイドホルモンを測定することで、発情周期や妊娠などをモニタリングする	資料の提供(経時的)
10	動物園動物の死因究明とこれに基づく飼育管理の向上（共同研究）	平成27年度より、臨床上に死因究明が必要な飼育動物について病理解剖を行っている。	病理解剖と組織学的診断（年10回）

北海道大学獣医学部と札幌市円山動物園との交流実績について（令和５年度）

No	件名	内容	実績（数値等）
11	ユーラシアワシミミズクに対するバロキサピル マルボキシルの反復経口投与による安全性研究	ユーラシアワシミミズクに対してバロキサピル マルボキシルを反復経口投与し、安全性に関する情報を得ることを目的とする	投薬試験と薬剤血中濃度の測定とデータの共有
12	カセサート大学の学生研修	北海道大学獣医学部で受け入れているカセサート大学からの研修生5名の円山動物園施設見学の実施。	令和6年2月7日に実施（予定）
13	クマ類の血液DNAを用いたメチル化解析による年齢推定に関する研究	ホッキョクグマ、マレーグマ、ヒマラヤグマにおける血液DNAのメチル化レベルを解析することで、年齢を推定する手法を確立する。	試料の提供（年３回）
14	学生実習（動物園学）	「動物園学」において、学部学生実習を受入れていただき、主に動物病院と動物展示バックヤードを見学・解説していただいている。	28名（3年生）の受入れ（年1回）
15	化学物質感受性の動物種差に関する共同研究	2006年から異物代謝能に関する共同研究を実施しており、円山動物園から肝臓及び血液などを提供している。学会発表なども共著で行っている。	試料の提供（年12回）
16	雌雄判定	2006年から、円山動物園からの雌雄判定依頼により、血液や羽、毛などを用いてPCRによる雌雄判定を行っている。	雌雄判定（分析依頼）、必要に応じてその都度実施
17	アカハナグマの治療に係る薬物代謝のアドバイス	アカハナグマの治療について、免疫抑制剤と抗てんかん薬の代謝の関係についてアドバイスをいただいた。	令和5年8月に実施
18	チュラロンコン大学・香港大・北大ジョイントサマーキャンプ	円山動物園園内施設見学への対応	令和５年8月1日に実施
19	論文査読	円山動物園が野生動物医学会雑誌に投稿予定のクロザルの糖尿病治療に関する論文の査読をお願いした。	令和５年8月に実施